

2023年度(令和5年度)

学校関係者評価報告書

2024年(令和6年)10月21日

学校法人 中村学園

国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校

1. 学校関係者評価

(1) 目的

- ①自己評価の評価結果について、学校外の関係者による評価を行い、自己評価結果の客観性・透明性を高めること。
- ②学生・卒業生、関係業界、専修学校団体・職能団体・専門分野別の関係団体、中学校・高等学校等、保護者・地域住民、所轄庁・自治体の関係部局など、専修学校と密接に関係する者の理解促進や連携協力による学校運営の改善を図ること。

(2) 定義

学生・卒業生、関係業界、専修学校団体・関係団体、中学校・高等学校等、保護者・地域住民、所轄庁等の学校関係者などを、学校自らが選任し、構成された評価委員会等が、自己評価の結果について評価することを基本として行う評価

(3) 評価者

学校と直接関係のある学校外の者を評価者とする学校関係者評価委員会、評価を行う「学校関係者」を選任する。

(4) 評価方法

当該年度の学校が行った自己評価の結果及びそれを踏まえた今後の改善方策について評価することを基本とする。

【ポイント】

- ・自己評価の結果の内容が適切かどうか
- ・自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切かどうか
- ・学校の重点目標や自己評価の評価項目等が適切かどうか
- ・学校運営の改善に向けた実際の取組が適切かどうか

(5) 評価期間

2023年度（2023年4月1日～2024年3月31日）

(6) 評価結果

- ①評価結果や今後の改善方策等について取りまとめて公表する。
- ②自己評価の改善方策の検討において活用、次年度の重点目標の設定や具体的取組の改善を図る。

2. 学校関係者評価委員会

(1) 日 時：2024年10月21日（月） 13:30～15:30

(2) 場 所：国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校（学校法人中村学園）Nタワー1F バンケット実習室

(3) 参加者：学校関係者評価委員（及び学校事務局）

学校関係者評価委員会の構成

学校関係者評価委員 5名

（順不同 敬称略）

氏名	所属
横山 隆	株式会社千葉京成ホテル 京成ホテルミラマーレ 総支配人
今関 真治	千葉都市モノレール株式会社 総務部長
原田 正隆	千葉市民活動支援センター コーディネーター
小亀 さおり	Aqua Dream Project代表
小西 有	ANAスカイビルサービス株式会社 総務人事部 人材開発課 課長

欠席の委員1名には後日意見聴取を行う。

学校事務局 8名

氏名	所属
向山 俊一	国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校 本部長
古川 博文	国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校 校長・副本部長
湊 さやか	国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校 教務室 室長
石神 直人	国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校 教務室 室長補佐
大久保 昇	国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校 教務室 ホテル科学科長
小川 泰明	国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校 就職室 室長
寅野 綾香	国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校 学務室 室長補佐
栗原 和希	国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校 教務室 室長補佐

- (4) 内 容：・学校関係者評価の目的
・自己評価に対する学校関係者評価
・意見交換

3. 評価

(1) 評価項目について、学校関係者評価委員が評価を行う。

評価：4：達成度80%以上、3：達成度60%以上、2：達成度30%以上、1：達成度30%未満

(2) 評価、意見、改善方策を記載する。

4. 評価項目

- (1) 教育理念・目標
- (2) 学校運営
- (3) 教育活動
- (4) 学修成果
- (5) 学生支援
- (6) 教育環境
- (7) 学生の受け入れ募集
- (8) 財務
- (9) 法令等の遵守
- (10) 社会貢献・地域貢献
- (11) 国際交流

5. 評価項目の達成と改善方策

(1) 教育理念・目標

評価項目		評価	意見・コメント
1	理念 目的 育人人材像	学校の理念・目的・育人人材像は定められているか	24年度より観光科に「アウトドア」要素を取り入れたが、学生からはどのような意見や要望が上がってきているか。
2		教育目標、育人人材像は、専門分野に関連する業界等の人材ニーズに向けて方向づけられているか	
3		学校の理念・目的・育人人材像・特色などが学生・保護者等に周知されているか	
4	特色ある教育活動	理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	
5	将来構想	社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	

項目評価（平均） **3.4**

【改善方策】

・24年度に新たに取り入れた観光科の【アウトドア】要素について、専門科目としての実施は2年次（25年度）となるため、授業改善アンケート等を注視し、今後の運営に取り入れていく。

(2) 学校運営

評価項目		評価	意見・コメント
1	運営方針	目的等に沿った運営方針が策定されているか	・システムによる業務の効率化は必要不可欠となっており、システムを変えるごとに使用方法や遵守すべき事由も変更となるため、学生へのコンプライアンス指導だけでなく、学生指導や機器を取り扱う教員側のコンプライアンス指導も拡充していく必要があるのでは。
2	事業計画	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	
3	運営組織	運営組織は文書等において明確化され有効に機能しているか	
4		意思決定プロセスは整備され機能しているか	
5		人事、給与に関する規定等は整備されているか	
6	コンプライアンス	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	
7	情報公開	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	
8	情報システム	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	

項目評価（平均） **3.8**

【改善方策】

・学園全体や職階ごとの指導方法や経営に関する研修は行われているが、SNSや様々な機器についての取り扱いやコンプライアンス遵守の為の研修を新たに取り入れていくことを検討。

(3)教育活動

評価項目		評価	意見・コメント	
1	目標の設定	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	<p>・千葉の土地柄を活かした観光を推進していくことが今後必要であり、企業だけではなく、千葉県行政とも産学連携を目指し実施していくことで、地域貢献と共に学校の認知度が広がっていく。</p>	
2		教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか		
3	教育方法評価等	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか		
4		キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか		
5		関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラム作成・見直し等が行われているか		
6		関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか		
7		授業評価の実施・評価体制はあるか		
8		職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか		
9	成績評価単位認定等	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか		4
10	免許資格取得の指導体制	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか		3
11	教員教員組織	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか		3
12		関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなど取組が行われているか		3
13		関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか		3
14		職員の能力開発のための研修等が行われているか		3

項目評価（平均）

3.1

【改善方策】

- ・分野により、企業（会社）ではなく行政に連携を打診し、相互協力を実現させていく。

(4)学修成果

評価項目		評価	意見・コメント	
1	就職率	就職率の向上が図られているか	<p>・就職について、複数企業から内定を頂いた場合、先行内定ではなく学生が選べるようになったことは、企業としては厳しい部分もあるが、学生にとっては非常に良い取り組みだと感じた。</p> <p>・項目2について、以前よりも評価が下がっているが、どのような要件で下がったのか。</p>	
2	資格・免許の取得率	資格取得率の向上が図られているか		3
3	卒業生 在校生の 社会的評価	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか		3
4		卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか		3
5	評価目標	教育及び実習等を委託する場合、その目的、要望事項及びそれに対する評価項目等の依頼を明確にしているか		3

項目評価（平均）

3.2

【改善方策】

- ・学校の推奨検定・資格について、検定・資格内容とどのような職業に必要となるかを明確に伝えるためのツールを作成。
- ・今後も募集企業や学生数に応じて、就職に関する手順や内定企業の選定基準等を検討していく。
- ・各専門分野における資格試験を任意から必修にし、資格取得率の向上を図る。

(5) 学生支援

評価項目		評価	意見・コメント
1	就職等 進路	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	・項目1に対して、昨年22度より先決内定制を取りやめ、複数企業を受験・内定を頂いた場合、学生が選べるようになったことは、企業としては厳しい状況ではあるが、学生にとっては良い取り組みであるとのご意見を頂いた。
2	中途退学 への対応	退学率の低減が図られているか	
3	学生相談	学生相談に関する体制は整備されているか	
4		留学生に対する相談体制を整備しているか	
5	学生生活	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	
6		学生の健康管理を担う組織体制はあるか	
7		課外活動に対する支援体制は行われているか	
8	保護者 との連携	保護者との連携体制を構築しているか	
9	卒業生 社会人	卒業生への支援体制はあるか	
10		社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	
11	高校 との連携	高校・高等専修学校等との連携による キャリア教育・職業教育の取組が行われているか	

項目評価 (平均) **3.5**

【改善方策】

- ・現代社会の急速な変化に対し、専門分野の知識だけでなく、柔軟な思考力や想像力、コミュニケーション能力や倫理観を持った人材を育成するため、様々な意見や情報を取り入れながら教育方法等を刷新していく。

(6) 教育環境

評価項目		評価	意見・コメント
1	施設 設備等	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	・項目5について、防災発生時の連絡体制はどのようになっているか。 ・自然災害は今後も必ず起きるため、普段からどのように備えているのかが重要となり、訓練体制や備蓄品の管理などを徹底していく必要があるとコメントを頂く。
2		学校施設・備品等が定期的に管理・点検されているか	
3	学外実習 インターン シップ等	学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	
4	防災 安全管理	防災に対する体制を整備し、適切に運用しているか	
5		学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	

項目評価 (平均) **3.2**

【改善方策】

- ・災害時発生時、学校側から学生・教職員に対してアンケート形式で安否確認を行っており、今後は相互どちらからも連絡が取れるよう改善を検討。

(7) 学生の受け入れ募集

評価項目			評価	意見・コメント
1	学生募集活動	高等学校等、接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	4	・教育成果を外部に知らせることで、各分野・職業で推奨されている資格、学校の教育方針や雰囲気などを知ることができ、高校生や保護者の安心材料になるとのコメントを頂く。
2		学生募集活動を適切、かつ、効果的に行っているか	4	
3		学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3	
4	入学選考	入学選考基準を明確化し適切に運用しているか	4	
5	学納金	経費内容に対応した妥当な学納金であるか	4	
6		入学辞退者に対し、授業料等について適正な取り扱いをおこなっているか	4	

項目評価（平均） **3.8**

【改善方策】

インフラや物価の高騰が続く中で、経費に基づく学納金の適正化を図り、より多くの学生に入学して頂けるよう、在校生の教育成果を今後発信していく。

(8) 財務

評価項目			評価	意見・コメント
1	財務基盤	学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	3	特になし。
2	予算収支計画	教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	3	
3		予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	4	
4	監査	私立学校法及び寄付行為に基づき適切に監査を実施しているか	4	
5	財務情報の公開	私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	4	

項目評価（平均） **3.6**

【改善方策】

中村学園全体の財務基盤は安定しているか、学校単体での財務基盤は入学生数の減少により年々低迷しているため、募集増加の方策を策定・実施していく。

(9)法令等の遵守

評価項目		評価	意見・コメント
1	法令基準等の遵守	法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	特になし。
2	個人情報保護	学校が所有する個人情報保護に関する対策がとられているか	
3	学校評価	自己評価の実施体制を整備し、問題点の改善を行っているか	
4		自己評価結果を公開しているか	
項目評価（平均）			3.5

【改善方策】

- ・引き続き、学校評価メンバーで発見した課題や改善点について、どのように学内に浸透させていくかを検討する。

(10)社会貢献・地域貢献

評価項目		評価	意見・コメント
1	社会貢献 地域貢献	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	・ピーチクリーン時、参加者や参加企業から高い評価を頂いている。世間にSDGSが浸透しているため、環境保全や地域活性も含め、様々な活動を通じて学生育成や学校の特色を広めてもらいたいとの意見を頂く。
2		地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	
3	ボランティア	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	
項目評価（平均）			3.0

【改善方策】

- ・社会貢献やボランティアだけでなく、身近な地域に貢献できるよう、近隣地区の活動などにも積極的に参加しニーズをとらえる。

(11)国際交流

評価項目		評価	意見・コメント
1	留学生 受け入れ	留学生の受け入れ・派遣について戦略をもって行っているか	特になし。
2		留学生の受け入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続き等がとられているか	
3	留学生 指導	留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	
4		学修成果が国内外で評価される取組を行っているか	
項目評価（平均）			3.5

【改善方策】

- ・次年度入学生数が大幅増加となっていることから、現在の学習・生活指導を確認し、適切な体制が取れるようブラッシュアップを行う。

7. 総評

学校生活は2019年度以前と同様に推移しているが、ここ数年での生活様式の変化や技術の飛躍的な進歩により、新たな教育方法や学びの場の提供が求められている。時代に取り残されないよう、新しい要素と古き良き伝統を織り交ぜ、頂いた意見を参考にしながら、今後も学校運営や学生・教員にとってより良い環境を作ることを目指していく。